



# うちな～地本便り

## 第10代本部長着任特集



自衛隊沖縄地方協力本部  
第一〇代 本部長 陸将補 久保 勝裕

この度、自衛隊沖縄地方協力本部長を拝命した久保勝裕陸将補です。日頃から沖縄地本の活動にご支援・ご協力いただいている沖縄県民の皆様、各協力団体の皆様、地本部員の諸官、地本部員ご家族の皆様にご心より感謝申し上げます。

昨年12月、国家安全保障戦略、国家防衛戦略及び防衛力整備計画の3つの文書が閣議決定されました。国家安全保障戦略では、重大な挑戦に晒されている国際秩序の中、我が国の国益や国家安全保障上の目標などが、国家防衛戦略では、我が国自身の防衛体制の強化として、我が国の防衛力の抜本的な強化、重視する能力などが、また、防衛力整備計画では、重視する能力として、スタンド・オフ防衛能力、無人アセット防衛能力等の整備について、それぞれ示されました。私は、これら防衛力の抜本的な強化を支えるのは地方協力本部だと考えております。新しい戦略に基づく装備品等の防衛力を駆使するのは自衛隊員であり、その自衛隊員を募集するのは沖縄地本の任務です。また、若年定年制及び任期制自衛官が後顧の憂いなく職務に専念するためには、再就職支援も不可欠です。その他にも、予備自衛官の管理、災害発生時の情報収集、地方公共団体との連絡・調整、地域住民の理解・協力を得るための広報等が沖縄地本に与えられた重要な任務であります。

沖縄地本が与えられた任務を達成するために、地本部員への要望事項を二つ掲げました。まず一つ目は「チームワークの発揮」です。我々一人ひとり凡人です。凡人が非凡な成果を達成するための秘訣はチームワークです。そのためには、チームのリーダーである本部長、各課長、各出張所長等が明確なビジョンや目標を示すとともに、チーム内相互の信頼関係を構築して、チームとして働きやすい勤務環境を構築することが重要です。

二つ目は、「家族を大切に」です。我々が職務に専念できるのも、家族の支えがあるからです。仕事はチームワークでカバーできますが、家族の代わりは誰もできません。家族を大切に、家族と良好な関係であるからこそ、憂いなく自分の職務に邁進できるのであります。

今年度、沖縄地本に与えられた目標は、非常に高い水準です。これを達成するために、地本が1つのチームになり、知恵と創造力を発揮し、あらゆる施策にチャレンジすることが必要です。沖縄地本長として先頭に立ち、職責を全うする所存です。沖縄県民の皆様、各協力団体の皆様におかれましても、沖縄地本の活動に対すこれまでと変わらぬご支援・ご協力の程、宜しくお願いたします。



前列左から、三上宮古島出張所長、辻原募集課長、倉田副本部長、久保本部長、蛸原総務課長、林援護課長、長谷石垣出張所長

# 第10代本部長着任特集（2）

## 勤務歴



くぼ かつひろ  
氏名：久保 勝裕  
出身：兵庫県

- 平成6年 防衛大学校卒 38期 (横須賀)
- 平成6年 第8高射特科群 (青野原)
- 平成11年 調査学校付 (小平)
- 平成12年 第10高射特科大隊 (豊川)
- 平成15年 幹部学校指揮幕僚課程 (目黒)
- 平成17年 自衛隊愛知地方協力本部 (名古屋)
- 平成20年 陸上幕僚監部 (市ヶ谷)
- 人事部募集・援護課 (駒門)
- 平成22年 第1高射特科大隊長 (目黒)
- 平成23年 幹部学校 (市ヶ谷)
- 平成23年 陸上幕僚長付副官 (市ヶ谷)
- 平成25年 防衛研究所一般課程 (目黒)
- 平成26年 陸上幕僚監部人事部 (市ヶ谷)
- 募集・援護課総括班長 (八重瀬)
- 平成28年 第15高射特科連隊長 兼八重瀬分屯地司令 (市ヶ谷)
- 陸上幕僚監部 人事教育部募集・援護課長 (市ヶ谷)
- 令和2年 教育訓練研究本部 総合企画課長 (目黒)
- 令和2年 第1高射特科団長 (東千歳)

## 本部長統率方針

# 遂完命所

## 本部長要望事項

チームワークを發揮せよ。  
家族を大切にせよ。

点線で切り取ると身分証と同じ大きさになります。

## 離任挨拶



前自衛隊沖繩地方協力本部長  
現中部方面総監部幕僚副長  
陸特補 坂田 裕樹

この度、自衛隊沖繩地方協力本部長を離任し、中部方面総監部幕僚副長として異動することになりました。離任するにあたりこれまで沖繩地本の活動にご協力・ご支援いただいたり、これまでも沖繩県民の皆様、自衛隊沖繩地方協力本部をご支援いただいたり、各協力団体の皆様、地本部員の諸官、地本部員を支えて下さるご家族の皆様にご挨拶を申し上げます。

令和二年八月に着任して以来、二年五カ月を振り返りますと、国外ではロシアによるウクライナ侵攻、中間の情勢悪化などが、また、国内では新型コロナウイルス感染症によるパンデミック、豪雨による数度の激甚災害の発生など、我が国の安全保障環境に大きな影響を与える具体的事象が生起しました。こうした状況において、国民の自衛隊に対する期待の高まりを身をもって感じました。このような中、日本にとって最も重要な地域である沖繩県民への理解を促進し、信頼関係、協力関係を深めるべく、人材の確保、人材の還元、予備戦力の保持、広報、自治体との連携など、日々活動に邁進してまいりました。

沖繩地本長としての二年四カ月の勤務は本当に楽しく充実したもので一生忘れられない勤務です。素晴らしい「人」に囲まれ、本当に幸せでした。これからも各協力団体の皆様と部員の皆様が「ONE TEAM」となり、地域と自衛隊の懸け橋として、その能力を存分に發揮して欲しいと思います。

最後に、皆様のこれからのご健勝と、益々のご活躍を祈念し挨拶いたします。ありがとうございます。